

ステークホルダーの皆さまとKKEをつなぐ

K K E : P R E S S

56期

2014年6月期（2013年7月1日～2014年6月30日）

大学、研究機関と実業界をブリッジする総合エンジニアリング企業



## 社会をDesign(デザイン)する 価値あるEngineering(エンジニアリング)を 提供し続けるために

代表取締役社長CEO  
服部 正太

*Shota Hattori*



### ▼プロフィール

1956年東京生まれ。1982年東京大学大学院社会学研究科修士課程を修了。マサチューセッツ工科大学大学院に留学し、1985年に修了。ボストンコンサルティンググループに入社、米国および日本国内にてコンサルタント業務を経験。1987年、構造計画研究所に入社。2002年代表取締役社長に就任。「社会事象の実験とシミュレーションが21世紀前半に大きく発展・貢献する」という夢の実現に向けシャドーフワークも実践中。

### Q 第56期の振り返りとご評価からお願いします。

順調に業績が回復し、想定よりも利益を拡大することができました。当社のサイエンスをベースにしたエンジニアリング、技術コンサルティングに対する評価・期待が高まり、提供する付加価値に見合う対価をいただけるようになったことが大きな要因であると考えています。

当社が強みとするシミュレーションには2つの領域があります。ひとつは、自然災害時などの、例えば風や水、地盤の動きといった物理量シミュレーション、もうひとつは、意思を持って相互作用を起こす人間の動きのシミュレーションです。データの分析・解析だけでなく、これらをハイブリッドに組み合わせたシミュレーションによって、具体的な代替案やモデルを提案できるところに高い評価をいただいていると感じています。特に第56期は、防災関連、住宅関連の構造計算システムを中心とした、エンジニアリングコンサルティング分野とシステムソリューション分野の両方に跨るプロジェクトが業績を牽引する結果となりました。

プロダクトサービス分野では、総合型交通シミュレーションプラットフォーム「PTV Vision」やクラウドベースのメール配信サービス「SendGrid」といった比較的新しいプロダクトサービスについても、今期は注力いたしました。すでに多くの引き合い・受注をいただいております。今後、大きく成長する事業になってくると期待しています。

またトピックスとしては、JR中野駅の北側に位置する中野セントラルパーク内に、新たなイノベーションオフィスを開設し

たことが挙げられます。今後は、新規事業開発の他、参画している一般社団法人中野区産業振興推進機構「ICTCO」と連携し、地域特有の課題解決支援などに、行政と共に取り組んでいく予定です。現場を見据えた課題解決支援プロジェクトの発進という意味でも、非常に良い新しい機会に恵まれたと思っています。

### Q 重点ビジネス領域PLG(「Public」、「Local」、「Global」)の取り組みと今後の展開をお聞かせください。

より良い社会の実現と更なる付加価値成長を目指し、当社の技術を机上の空論で終わらせないためにも、現場に根差したビジネス領域として、「Public」、「Local」、「Global」という3つのテーマに重点的に取り組んでいく方向性を新たに打ち出しました。

「Public」は、技術コンサルティング企業として制度やルールの策定から参画する取り組みの強化です。すでに、総務省が主体となって進めている「無線通信技術の国際標準化調査」、経済産業省の未利用エネルギー活用調査事業における「風力発電施設の制度設計業務」、内閣府による「地震対策等の推進に必要な経費」事業などにおいて、指針作成や国際標準の策定における事務局業務などに着手しており、こうした取り組みの機会を拡大していきたいと考えています。

「Local」は、地域に特有の課題(災害、交通、介護など)解決を現場と連携して支援することを指したもので、まさに中

野区との連携はこの取り組みの一環です。また、中野イノベーションオフィスの取り組みでは、新規事業の創出や地域に密着した既存事業の展開促進においても役割を得ており、中野区観光協会、中野区商店街連合会等と共同で、「商品開発レシピコンテスト」を開催するなど、地域貢献の機会を拡大しています。

こうした地域の発展、貢献につながる「Local」の取り組みについては、今後も拡大していきたいと考えています。

「Global」は、日本企業の海外展開を支援するソリューションの提供という点を重要視しています。世界標準の技術を有する様々な海外パートナーとの連携を図りながら、常に最先端でもっとも優れた技術の提供を通じて、世界で活躍する企業の事業展開を支援していきます。単に先進技術の導入を実施するだけでなく、運用において使いこなせるだけのノウハウをしっかりと教示していくこと、目には見えない資財をお客さまにしっかりと活用いただくことに、当社の付加価値があると思っています。また、安全・安心に関する課題は、日本だけでなく、世界共通の課題であることから、こうした領域における当社が培ってきた知見を世界に展開していきたいと考えています。

▶ PLGについて詳しくは次頁に特集

### Q 海外の人材採用をはじめ、人材育成に力を入れていくとお伺いしました。

中長期に人を育てるという方向性で、人材採用、人材育成のあり方を考えています。当社は、人と人との関係性の中で仕事を完遂していく職業であり、所員それぞれの個性をうまく伸ばしながら、多様性のある組織を作っていくことを非常に重要なテーマのひとつとして捉えています。その取り組みのひとつとして、シンガポールを中心として、海外の大学を卒業した外国籍の人材採用を開始しました。シンガポールでの会社説明会を経て、2014年7月に日本で最終面接を実施し、イラ

## ・CONTENTS・

トップインタビュー	1
特集 より良い社会の実現と更なる付加価値成長を目指して	3
業績ハイライト	5
財務諸表	6
What's KKE?	7
イノベーションの歴史	8
KKE NEWS	9
会社情報/株式情報	裏表紙

ン、インド、マレーシア、インドネシア、中国といった国々から7名の採用を決定しました。様々な価値観、宗教を含めて考え方や意見、行動様式が異なる人を受け入れ、互いを尊重し合えるような組織作りを通じて、多様性から生まれる柔軟性をもってグローバル展開を加速させていきます。

### Q 第57期の業績の見通しと合わせ、ステークホルダーの皆さまへのメッセージをお願いします。

創立から55年を経て、株主さまにおいても世代交代を迎える時期となり、そうした中、第56期は、TOB(株式公開買い付け)を通じて自社株を保有する機会がありました。今後はこの自社株を活用して、パートナーとなりうる人、事業活動を支える所員に順次譲渡することを視野に入れながら、強固な信頼関係のもと、事業の発展に繋げていきたいと考えています。

また第56期の株主さまへの配当につきましては、創立55周年記念配当5円を含め、1株当たり35円の配当を実施させていただきます。

当社は、21世紀型の知識集約型企業として、日本を代表するような技術コンサルティング企業を目指してまいりました。欧米流の考え方とは少し異なり、個が成長する組織体であることを目指すのは、日本的価値のひとつです。今後はさらに、若手を鍛えて才能を伸ばすことを得意とする企業、そうした組織作りに向けた企業の代表例として、世界に向けて存在を発信できる企業であること、また、サステナブルに社会に貢献する企業であり続けることを目指してまいります。第57期は、次なる成長ステージに向け、これまで進めてきた複数の案件が育ってくる姿をお見せできると見込んでおりますので、株主の皆さまにおかれましては、引き続き当社の事業活動をご支援いただけますようお願い申し上げます。



# より良い社会の実現と更なる付加 価値成長を目指して

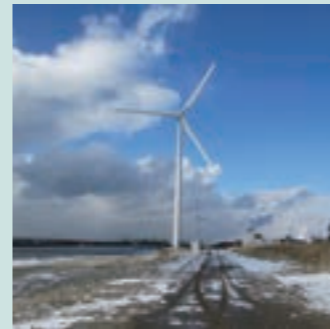
Professional Design & Engineering Firmとして、当社がこれまで培ってきた知識や技術を、大学・研究機関やパートナー企業と連携しながら、「Public」、「Local」、「Global」それぞれの視点でお客様のご要望を踏まえながら展開し、社会の抱える課題に向き合うとともに、高付加価値を実現する組織を目指してまいります。

## Public

技術コンサルティング企業として  
制度やルールの策定から参画し、  
社会の抱える課題解決を支援する

### 風力発電施設の制度設計業務

洋上を含む国内約300基の風力発電施設設計実績や、風や振動による風力発電施設への影響解析、設計、大臣認定、建築確認までの業務を一貫して請け負うことの出来る技術力を評価いただき、経済産業省が進める未利用エネルギー活用調査事業に当社が参画いたしました。風力発電施設関連業務に関しては、海外メーカー及び国内複数の大学とも連携し、更に競争力、技術力を向上させる取り組みを行っております。



### 地震対策の推進業務

これまで培ってきた安心・安全ソリューション業務の実績及び技術力を評価いただき、内閣府が進める「地震対策等の推進に必要な経費」事業に当社が参画いたしました。東京大学の研究に参画し、大地震時における広域的な火災延焼・避難シミュレーションを実施したほか、関係機関との技術的連携を検討し、今後も当社の技術を安心・安全な社会づくりに役立ててまいります。



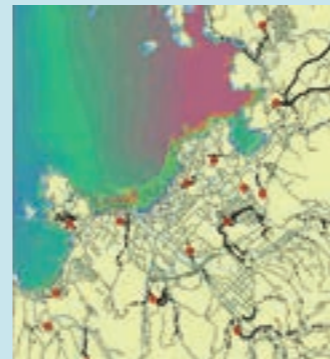
火災避難シミュレーションイメージ図

## Local

地域に特有の  
災害避難や交通渋滞などの課題解決を  
現場と連携して支援する

### 防災計画支援コンサルティング

津波や河川氾濫など地域が抱える特有の災害問題に対して、当社が保有する技術を複数組み合わせることで多面的な対応策を提示しています。災害や被害の状況を時系列に可視化するほか、地域や個人の特性を反映した避難行動を提案し、避難完了までの時間を推計することも可能です。



津波避難シミュレーションイメージ図

### 中野イノベーションオフィス開設

中野区から打診を受け、新規事業創出と地域に密着した既存事業展開の促進を目的として、中野セントラルパーク内に新オフィスを開業いたしました。新オフィスでは主に新規テーマの事業開発を行うほか、当社も参画している一般社団法人「中野区産業振興推進機構 (ICTCO)」が同エリア内に設置されており、地域のイノベーションセンターとしての役割を当社も担うことが期待されております。



## Global

当社の技術ソリューションのみならず、  
提携している海外パートナー企業の  
技術ソリューションを提供することで、  
日本企業の海外展開を支援する

### 最適積み付けシステム

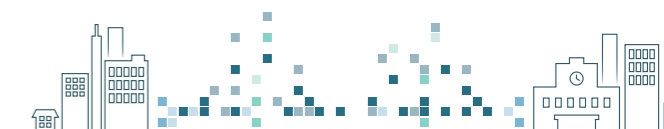
当社が培ってきたオペレーションズ・リサーチの技術を応用し、貨物をトラックやコンテナに積み付けるための積載効率の高い積載プランを作成する最適積み付けシステムを開発し、グローバル展開する日本企業を支援しています。



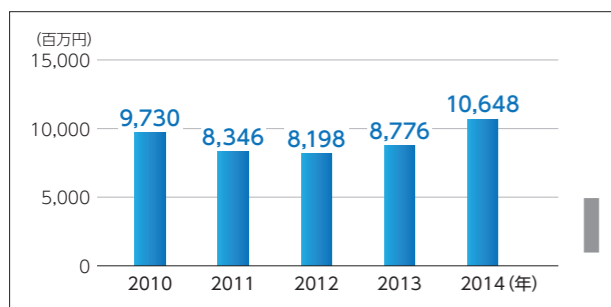
### 総合交通シミュレーション「PTV Vision」

ドイツのPTV GROUPが展開する「PTV Vision」は、マクロ、ミクロ両方の視点からシミュレーションを行って、新しい街づくりの策定を支援する、強力な総合交通シミュレーションです。当社は「PTV Vision」販売のほか、「PTV Vision」を使ったコンサルティング業務を展開しています。

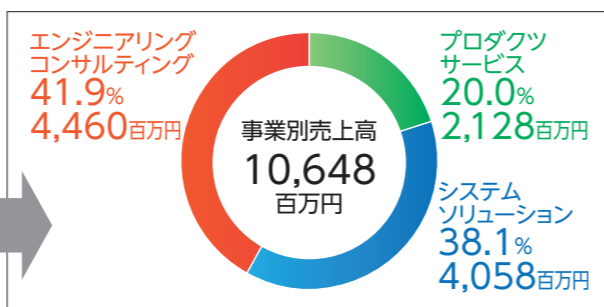




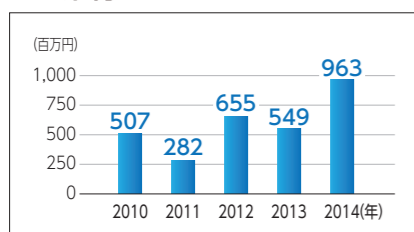
売上高



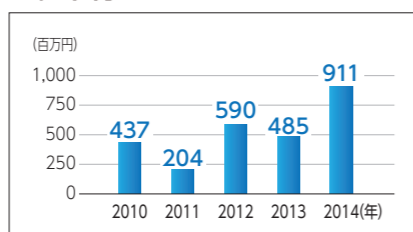
売上高構成比



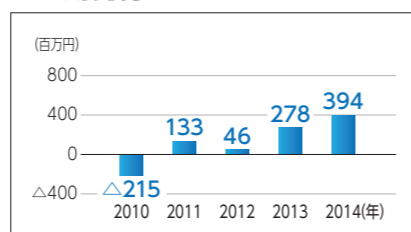
営業利益



経常利益

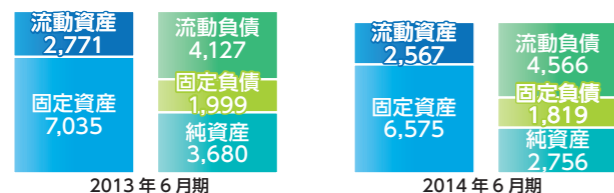


当期純利益



貸借対照表のPOINT

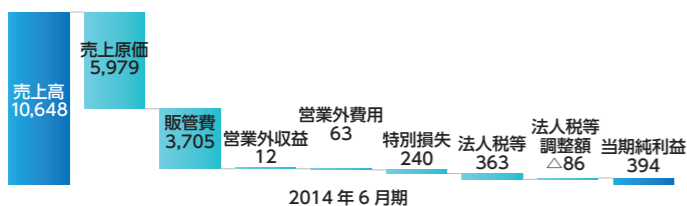
(単位：百万円)



- 総資産は、前事業年度末に比べて6.8%減少し、91億43百万円となりました。
- 負債合計は、前事業年度末に比べて4.2%増加し、63億86百万円となりました。
- 純資産合計は、自己株式が12億円増加したことなどにより、前事業年度末に比べて25.1%減少し、27億56百万円となりました。

損益計算書のPOINT

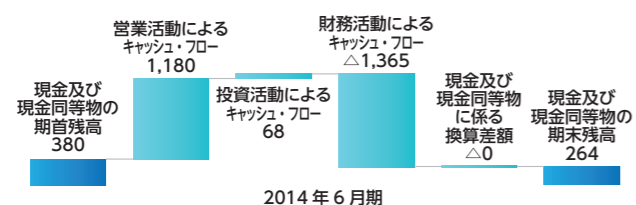
(単位：百万円)



- 各セグメントとも堅調に推移し、売上高は前事業年度末と比べ21.3%増加し、106億48百万円となりました。
- 資産効率の向上を目的として固定資産を譲渡し、固定資産売却益を計上しましたが、当期純利益は前事業年度末と比べ41.7%増の3億94百万円となりました。

キャッシュ・フロー計算書のPOINT

(単位：百万円)



- 営業活動により得られた資金は、税引前当期純利益6億71百万円、減価償却費2億47百万円等により、11億80百万円となりました。
- 投資活動の結果得られた資金は、有形固定資産の売却による収入2億24百万円等により、68百万円となりました。
- 財務活動により使用した資金は、自己株式の取得による支出12億84百万円、長期借入金の返済による支出7億44百万円等により13億65百万円となりました。

要約貸借対照表

(単位：千円)

	2013年6月期 (2013年6月30日現在)	2014年6月期 (2014年6月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	2,771,836	2,567,300
現金及び預金	380,316	264,057
受取手形	30,031	43,425
売掛金	1,227,375	1,066,149
仕掛品	431,310	407,291
その他	702,802	786,376
固定資産	7,035,731	6,575,843
有形固定資産	5,583,464	5,119,855
無形固定資産	398,923	363,704
投資その他の資産	1,053,343	1,092,282
資産合計	9,807,568	9,143,143
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	4,127,307	4,566,230
買掛金	271,711	229,176
短期借入金	1,290,000	1,950,000
1年内返済予定の長期借入金	610,000	182,890
その他	1,955,596	2,204,163
固定負債	1,999,863	1,819,963
長期借入金	609,420	292,500
リース債務	24,491	48,831
退職給付引当金	1,310,500	1,419,014
役員退職慰労引当金	40,000	40,000
資産除去債務	15,452	19,617
負債合計	6,127,171	6,386,193
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	3,674,818	2,753,734
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,041,464	1,041,464
利益剰余金	2,165,952	2,444,876
自己株式	(542,799)	(1,742,807)
評価・換算差額等	5,578	3,215
純資産合計	3,680,396	2,756,949
負債純資産合計	9,807,568	9,143,143

要約損益計算書

(単位：千円)

	2013年6月期 (2012年7月1日から 2013年6月30日まで)	2014年6月期 (2013年7月1日から 2014年6月30日まで)
売上高	8,776,942	10,648,013
売上原価	4,787,343	5,979,048
売上総利益	3,989,599	4,668,964
販売費及び一般管理費	3,440,206	3,705,569
営業利益	549,392	963,395
営業外収益	9,848	12,012
営業外費用	73,582	63,463
経常利益	485,658	911,945
特別損失	161	240,640
税引前当期純利益	485,496	671,304
法人税、住民税及び事業税	345,219	363,363
法人税等調整額	(138,367)	(86,804)
当期純利益	278,645	394,745

要約キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	2013年6月期 (2012年7月1日から 2013年6月30日まで)	2014年6月期 (2013年7月1日から 2014年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,356,198	1,180,770
投資活動によるキャッシュ・フロー	(451,172)	68,985
財務活動によるキャッシュ・フロー	(1,076,753)	(1,365,609)
現金及び現金同等物に係る換算差額	949	(404)
現金及び現金同等物の増加・減少額	(170,777)	(116,259)
現金及び現金同等物の期首残高	551,093	380,316
現金及び現金同等物の期末残高	380,316	264,057

株主資本等変動計算書

(単位：千円)

2014年6月期 (2013年7月1日から 2014年6月30日まで)	資本剰余金		株主資本				自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計			
	資本準備金	その他資本剰余金	固定資産圧縮積立金	特別償却準備金	別途積立金	繰越利益剰余金			評価・換算差額等	純資産合計				
2013年6月30日残高	1,010,200	252,550	788,914	1,041,464	33,302	1,912	100,000	2,030,738	2,165,952	(542,799)	3,674,818	5,578	5,578	3,680,396
事業年度中の変動額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	-	(115,821)	(115,821)	-	(115,821)	-	-	(115,821)
当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	394,745	394,745	-	394,745	-	-	394,745
固定資産圧縮積立金の取崩	-	-	-	(1,334)	-	-	-	1,334	-	-	-	-	-	-
特別償却準備金の取崩	-	-	-	(359)	-	-	-	359	-	-	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	(1,284,500)	(1,284,500)	-	-	(1,284,500)	-	-	(1,284,500)
自己株式の処分	-	-	-	-	-	-	84,491	84,491	-	-	84,491	-	-	84,491
株主資本以外の項目の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(2,362)	(2,362)	(2,362)	(2,362)	(2,362)
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	(1,334)	(359)	-	280,617	278,923	(1,200,008)	(921,084)	(2,362)	(2,362)	(923,447)
2014年6月30日残高	1,010,200	252,550	788,914	1,041,464	31,968	1,552	100,000	2,311,355	2,444,876	(1,742,807)	2,753,734	3,215	3,215	2,756,949

What's KKE?

# 私たちが提供するサービスは、 社会の安全・環境・コストに 直結しています。

ものづくりや流通システムの革新。IT技術を駆使したインフラ整備から防災ネットワーク構築。社会の表舞台はもちろん、目に見えない場所でも、私たちの技術は活躍中。着実に成果をあげて、信頼に応えています。



## イノベーションの歴史 THE HISTORY OF INNOVATION

1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010
建設分野 Construction Field 1956年 服部正構造計画研究所としてスタート						
<p><b>創業者、アメリカに渡り電算機利用を調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 城郭復元に関する構造設計(不規則架構の応力解析)</li> </ul>	<p><b>1961年日本初、構造設計にコンピュータを導入(IBM1620導入)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 汎用構造解析のコンピュータ処理</li> <li>● 有限要素法による動的振動解析、弾塑性解析</li> <li>● 大型鉄塔を搭載した建物の動的耐震設計</li> <li>● 高層建築</li> </ul>	<p><b>超大型コンピュータ(FACOM23060)導入</b></p> <p><b>数値解析・耐震シミュレーションの研究</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 原子力発電所の耐震安全性検討</li> <li>● 地震波シミュレーション</li> <li>● 超高層建築・大規模特殊構造物</li> </ul>	<p><b>モデリング・可視化技術の実用化と応用技術への展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● CADシステムインテグレーション</li> <li>● 土工計画支援ソリューション</li> <li>● 工業化住宅一貫設計ソリューション</li> <li>● 防災コンサルティング</li> </ul>	<p><b>安全設計から安心・信頼設計へ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 局地風解析シミュレーション</li> <li>● 騒音予測シミュレーション</li> <li>● 総合地盤解析</li> <li>● 工業化住宅構造計算ソリューション</li> <li>● 免震・制振・耐震設計</li> </ul>	<p><b>ITと防災の融合サービスの展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報共有・プロジェクト管理ASPサービス</li> <li>● 交通振動解析シミュレーション</li> <li>● 地震リスク評価</li> <li>● 防災シミュレーション</li> <li>● 住宅情報管理ソリューション</li> </ul>	<p><b>環境に配慮したITソリューションサービスの提供</b></p> <p><b>大規模解析シミュレーションの導入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● エネルギー施設の構造設計・補強</li> <li>● インフラ施設の予防保全シミュレーション</li> <li>● 長期地震動シミュレーション</li> <li>● 超高層構造設計支援システム</li> </ul>
情報通信分野 Information and Communications Field コンピュータ導入の先進性を活かし、ソフトウェア開発ビジネスを開始						
<p><b>1969年 情報収集のため、アメリカにILC設立</b></p> <p><b>ソフトウェアの受託開発を開始</b></p>	<p><b>開発効率を高めるソフトウェアの研究</b></p> <p><b>組織的ソフト開発を開始</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 汎用機用基盤ソフトウェアの開発</li> <li>● タイムシェアリング環境での建築構造計算</li> <li>● コンピュータを用いた図化・表示</li> </ul>	<p><b>ADA言語の研究</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第一世代移動通信関連システムの開発</li> <li>● ネットワーク最適化・信頼性解析</li> <li>● 汎用シミュレーション言語を用いたシステムシミュレーション</li> </ul>	<p><b>品質・コスト・スピードにおいて信頼できるソフトウェア開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第二世代移動通信関連システムの開発</li> <li>● 電波伝搬シミュレーション</li> <li>● マルチメディアを用いた感性評価</li> <li>● 仮想現実感・複合現実感</li> </ul>	<p><b>次世代ネットワークプロトコルの研究開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第三世代移動通信関連システムの開発</li> <li>● アドホックネットワーク</li> <li>● 公共交通関連ソリューション</li> <li>● 通信ネットワークシミュレーション</li> </ul>	<p><b>新たなワイヤレスフロンティアの創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第3.9世代ワイヤレス通信システム</li> <li>● センサネットワーク</li> <li>● 電磁界解析</li> </ul>	
製造分野 Manufacturing Field シミュレーションによるシステム性能評価ビジネス開始						
<p><b>オペレーションズ・リサーチ(OR)研究室を設置</b></p>	<p><b>1985年 製造分野に強みを持つアメリカのアリヅカ社と提携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産・物流システム・シミュレーション</li> </ul>	<p><b>ハウスメーカー、住宅設備メーカーへのソリューション提供を開始</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ニーズ分析</li> <li>● 生産スケジュール管理ソリューション</li> <li>● 生産設計CADソリューション</li> <li>● シミュレーションによる設計・解析支援ソリューション</li> </ul>	<p><b>顧客主導型ビジネスを推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 商品開発設計CAD/CAEソリューション</li> <li>● 営業支援ソリューション</li> <li>● 仕様設計支援ソリューション</li> <li>● 生産管理・最適在庫ソリューション</li> <li>● シックシグマによる品質マネジメント支援</li> </ul>	<p><b>ものづくりのプロセス全般をカバーするソリューション群を展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 製販連携を実現するソリューション</li> <li>● 物流関連ソリューション</li> <li>● 品質リスクマネジメントソリューション</li> </ul>		
意思決定支援分野 Decision-Making Support Field 意思決定の問題にシミュレーションを取り入れる						
<p><b>マーケティングおよび経営戦略の策定を支援するビジネスを開始</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コンピュータシミュレーションによるコジョイント分析</li> <li>● マーケティングサイエンスによるコンサルティング</li> <li>● モンテカルロ手法による事業計画分析</li> </ul>	<p><b>データ分析とシミュレーションを核に、対象を社会事象全般に拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● マルチエージェントシミュレーションを使った社会事象分析</li> <li>● 排出権取引実験とシミュレーション</li> </ul>	<p><b>評価をキーワードに対象分野を広げる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コーポレートマネジメントソリューション</li> <li>● リアルオプション</li> <li>● レコメンドーション技術によるWebサービス支援</li> </ul>	<p><b>持続可能な社会を目指すソリューション展開</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害避難・復旧シミュレーション</li> <li>● ストック型社会と住生活ソリューション</li> <li>● 再生可能エネルギーとスマートグリッド</li> <li>● サービス工学ソリューション</li> </ul>			

創業者である服部正(工学博士)は、1956年に構造設計事務所を創設し、1959年には株式会社化したしました。創業まもなく、コンピュータの先進的研究と利用の場に触れるため単身渡米した服部は、その想像以上の先進性にショックを受けます。当時は、手計算による構造計算が主流の時代でした。

10人足らずからスタートした設計事務所は、「地震国日本の耐震設計を、デジタルコンピュータによって一瞬せめてどうするのか」という熱い思いを抱き、1961年、超高層建築時代に先駆けて、日本で初めて建築の構造計算にコンピュータを導入しました。これが構造計画研究所のイノベーションの原点です。

以来、コンピュータ関連技術の情報通信分野への応用、建設分野で培った構造解析、設計、OR技術の製造分野への展開、さらに近年では意思決定の問題にシミュレーション技術を適用し、より多岐にわたる分野へ高付加価値ソリューションを提供しています。このように時代の先を行こうとする革新的な姿勢が、現在でも確かに受け継がれています。

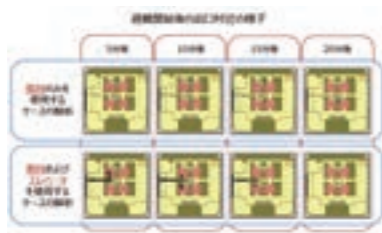
## 第55期定時株主総会

### ネットワークシミュレータ向けの無線システム間電波干渉計算モジュールの販売を開始

無線システム間の電波干渉を考慮した性能評価が可能となる、ネットワークシミュレータ「QualNet」のオプションモジュール「周波数スペクトラムマスクモジュール」の販売を開始しました。

### 「超高層ビル用火災時避難シミュレーションシステム」に関する特許を取得

森ビル株式会社と2008年に共同開発した「超高層ビル用火災時避難シミュレーションシステム」が、特許権を取得しました。本システムは、火災発生時の避難完了時間や避難者密度等、多方面から避難安全性を評価することが可能で、より現実に即した避難計画立案に有効なシステムであり、東京消防庁が指針を発表した火災時の避難誘導用エレベーターの活用を想定した避難計画の検証にも対応しています。



## KKE Vision 2013

### ～イノベーションをカタチに～

プライベート・イベント「KKE Vision 2013 ～イノベーションをカタチに～」をヒルトン東京にて開催いたしました。本イベントは、構造計画研究所の企業理念である「大学、研究機関と実業界をブリッジする総合エンジニアリング企業」の精神のもと、大学、研究機関とビジネスパートナーとの間に立ち、工学知を共有する“場”のご提供を目的として毎年開催しております。



### 地域特性を考慮した津波避難の施策検討支援

鎌倉市 防災安全部総合防災課に対し、津波避難シミュレーションを用いて、津波避難に関する施策検討のコンサルティング業務を実施しました。



### クラウドメール配信サービス「SendGrid」の日本向けサービスを開始

クラウドメール配信サービスの提供で近年飛躍的な成長を遂げているSendGrid, Inc.社(本社：米国コロラド州、CEO：Jim Franklin)のクラウドメール配信サービス(サービス名称：SendGrid)の提供を開始いたしました。

### 新たなビジネス拠点として中野セントラルパークエリアにおいてイノベーションオフィス開設

公共・公益施設が集積し成長著しい中野セントラルパークエリアにおいて、新規事業創出と、地域に密着した既存事業展開の促進とを目的として、新オフィスを開業いたしました。



### 統計解析ソフトMinitabの最新バージョン「Minitab 17」をリリース

米国Minitab社の統計解析ソフトウェア(製品名称：Minitab)について、グラフ機能や検定機能が拡充し、ユーザの決断に根拠を付与するアシスタント機能を強化した最新バージョン「Minitab 17」の提供を開始いたしました。

### 日経産業新聞1面にて、当社オペレーションズ・リサーチ部が開発に携わった日本郵船社のコンテナ運用システムが紹介されました。



(掲載日 2014年02月19日 日経産業新聞 001ページ)

### NHKスペシャル「震災ビッグデータ “首都パニック”を回避せよ」にて、当社が東京大学と共同研究している火災避難シミュレーションについての取組みが紹介されました。



### 複雑系研究コンペ「第14回MASコンペティション」を開催

当社は、1996年から米国サンタフェ研究所のビジネスネットワークに参画し、複雑系分野の研究を継続してまいりました。現在、自社開発した日本発のマルチエージェント・シミュレータ「KK-MAS」[artisoc(アーティソック)]のパッケージ販売およびコンサルティング事業を行うとともに、本技術の普及に努めています。MASコンペティションは「artisoc」を使っている方々にその成果を発表いただき、ユーザ間の技術および情報交換の場を提供すると同時に、今後の更なる普及活動に向けての情報収集を目的とするものです。



### 「自動車向け機能安全規格ISO26262故障解析テンプレート」新バージョンをリリース

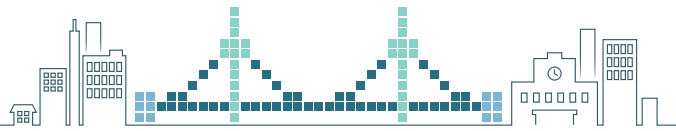
IHS社(本社：米国コロラド州)のリスクマネジメントソリューションをプラットフォームとした「自動車向け機能安全規格ISO26262故障解析テンプレート」の、新バージョンver.3の提供を開始いたしました。

### 震災シミュレーションシステムを開発し、BCP(事業継続計画)の策定を支援

震災時における適切なBCP(事業継続計画)の策定および迅速な初動体制の構築を支援する震災シミュレーションシステムを開発しました。本システムでは、地震学や地震工学に基づく科学的な知見をふまえて、地震発生前から地震発生直後を通して自拠点・サプライチェーンの地震被害状況を推定することができ、適切なBCPの策定や地震リスクの軽減に効果的な事前対策の検討、および適切な初動体制の意思決定を強くサポートします。

### 秋田県大潟村で広大な水田の水位監視サービスの実証実験を実施

住友精密工業株式会社(本社：兵庫県尼崎市、社長：三木伸一、以下、住友精密)と共同で、秋田県大潟村の一部で水田の水位監視サービスの実証実験を6月中旬より行っております。実証実験では、構造計画研究所が現在開発している農業モニタリングサービス「MS4A(エムエスフォーエー)」および住友精密が開発中の920MHz帯屋外無線ノードを利用したセンサネットワークサービスを用います。本実証実験を通じて、本サービスの実フィールドにおける有効性を検証し、商用サービス化を目指します。



### 会社概要 (2014年6月30日現在)

社名	株式会社構造計画研究所
英文商号	KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.
設立年月日	1959年5月6日
資本金	1,010百万円
従業員数	548名
決算期	6月
上場市場	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード) 証券コード 4748
事業内容	エンジニアリングコンサルティング システムソリューション プロダクツサービス

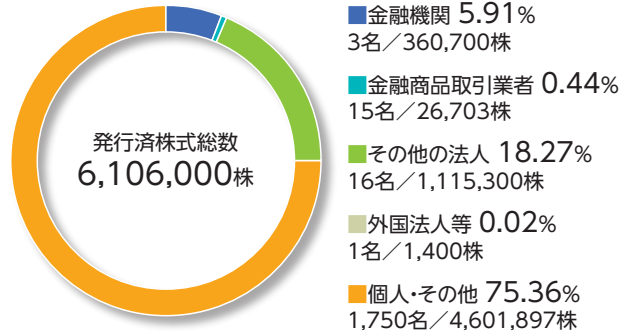
### 事業所所在地

本所	〒164-0012 東京都中野区本町4-38-13 日本ホルスタイン会館内
本所新館	〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3
中野イノベーションオフィス	〒164-0001 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパーク サウス 2F
大阪支社	〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋5F
九州支所	〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-1 KMMビル2F
中部営業所	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-3-3 名古屋朝日会館11F
熊本構造計画研究所	〒869-1235 熊本県菊池郡大津町室1315
上海駐在員事務所	〒200120 中華人民共和国上海市浦東新区世紀大道 100号 上海環球金融中心15F

### 株式の状況 (2014年6月30日現在)

発行可能株式総数	21,624,000株
発行済株式総数	6,106,000株
株主数	1,785名

### 所有者別分布状況 (2014年6月30日現在)



(注)「個人・その他」には自己株式1,599,428株を含めております。

### 株主メモ

事業年度	7月1日～翌年6月30日
基準日	6月30日
定時株主総会	毎年9月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目 10番11号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	<a href="http://www.kke.co.jp">http://www.kke.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### IR情報 メール配信サービス

「ディア・ネットサービス」によりプレスリリースやIRサイトの更新をメールにてお知らせいたします。



<http://www.kke.co.jp/ir/>



環境に配慮した「ベジタブルインキ」を使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。